

第2学年 体育科学習指導案

日 時 10月16日(木)5校時
学 級 第2学年2組(31名)
指導者 担任 森田 慎
指導補助員 代田 朱里

- 1 単元名 体づくり運動 多様な動きをつくる運動遊び
「チャレンジ! ニンジャランド!」

2 単元の目標

運動	体のバランスをとったり移動をしたりする動きや、ボールを操作する動きを総合的に身に付けることができるようにする。
態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたることができるようにする。
思考判断	多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知り、友達のよい動きを見付けることができるようにする。

3 運動の特性

- 夢中になって運動遊びに取り組むことで、楽しさや喜びを味わうことができる運動である。
- 友達と一緒に体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる運動である。
- 動きを工夫したり、新しい動きを考え出したりしたときに楽しさに触れることができる運動である。
- ボールを投げたり、捕ったり、運んだりする運動である。
- 運動の日常化につながる運動である。

4 研究主題との関連

(1) 体育科で目指す児童像

- | |
|--------------------------------------|
| 【心】 友達と仲よく運動し、思いやりのある温かい人間関係を築こうとする子 |
| 【体】 基本的な動きを身に付け、思い切り運動遊びに取り組む子 |

(2) 研究主題(児童像)に迫るための手立て

【心】

- ①友達と仲よく運動するために、小グループでの活動を導入する。
友達の動きのよさを認めたり、友達と励まし合ったりしながら運動遊びを楽しむことができるように、活動は主に小グループで行うようにする。
- ②思いやりのある温かい人間関係を築くために、ハッピーワード・ハッピーアクションを取り入れる。
よい声掛けやよい行いを全体で共通理解し活用するために、学習の振り返りや学習カードなどでハッピーワード・ハッピーアクションとして出し合ったり、わかりやすく掲示したりする。

【体】

- ①楽しく思い切り体を動かすために、場や用具を工夫したり、音楽を活用したりする。
楽しく運動遊びにのめり込むためには、場や用具を工夫することが大切である。本時では、大きさや形の異なるボールを数種類用意したり、投げる、運ぶ、送る場を用意し児童がやりたい運動を選べるようにしたりする。用具を変化させることで、児童が多様な動きを経験できたり、動きの工夫を引き出したりすることができる。準備運動では、幼児期から親しみのある音楽を活用して楽しみながら体をほぐすことができるようにする。
- ②基本的な動きを身に付けるために、運動量を確保したり、動きのポイントを明確にしたりする。
基本的な動きを身に付けるために、一つの動きに対して遊び込ませるための時間を確保したい。そのために、本時の学習課題を明確にし、場の設定を分かりやすく児童に示す。また、単元の始めには動きのこつやポイントを児童から引き出し、全体に共有させることで、一つ一つの動きをていねいに身に付けることができるようにする。
- ③運動遊びにのめり込むための役づくりをする。
低学年の児童の実態として、楽しく運動遊びにのめり込ませるために役になりきって活動することが効果的である。幼稚園では、動物や忍者などの役になりきったり、物語の世界に入り込みながら遊びを行ったりすることが多く、園児は楽しみながら様々な活動に意欲的に取り組むことができている。本単元では、そのような幼児期の特性を低学年の運動遊びの活動に生かし、忍者の修行をテーマにして役になりきることで、児童の学習意欲を高めることができるようにするとともに、継続して楽しみながら運動遊びに取り組むことができるようにする。

5 本時の学習（5 / 5時間）

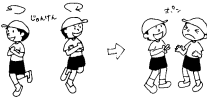
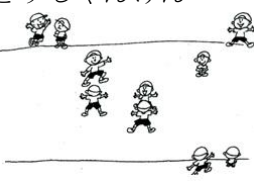
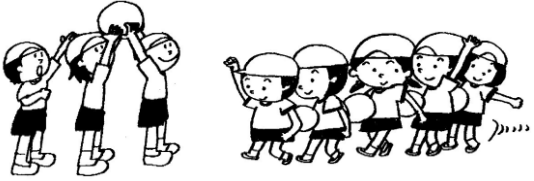
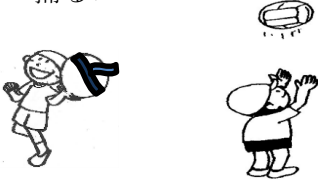
(1) ねらい

◎【運動】体のバランスを取ったり、移動したり、ボールを操作する動きができる。

【態度】場や用具の使い方などの安全に気を付け、友達と仲よく運動に取り組むことができる。

【思考・判断】友達のよい動きを見付けることができる。

(2) 展開

主な学習活動	○指導上の留意点・支援 ●評価
<p>1 学習内容を確認する。</p> <p>2 準備運動をする。</p>	<p>○前時の学習を振り返り、よかったところ(ハッピーワード・ハッピーアクション)を取り上げて紹介する。</p> <p>○音楽を使い、楽しく体を動かせるようにする。</p>
<p>3 バランスを取る運動遊びに取り組む。</p> <p><回る></p> <p>・くるっとじゃんけん</p>  <p>4 移動の運動遊びに取り組む。</p> <p><跳ぶ・はねる></p> <p>・じんとりじゃんけん</p>  <p>5 ボールを操作する運動遊びに取り組む。</p> <p><送る・運ぶ></p>  <p><投げる・捕る></p>  <p>※よかったタイム</p>	<p>○場の安全に気を付けることや動きが雑にならないように声を掛ける。</p> <p>●姿勢や方向を変えてバランスをとる動きができる。</p> <p>●早さやリズム、方向を変えて、体を移動する動きができる。【観察・学習カード】</p> <p>○場の安全を確かめてから運動するように声を掛ける。</p> <p>○うまくできない児童には、一緒に運動したり、うごきのポイントについて意識的に声を掛けたりする。</p> <p>○動きを工夫できない児童には、動きの工夫の視点を伝えたり、友達の動きを見るように声を掛けたりする。</p> <p>●投げられたボールを両手や片手で捕ったり、ボールを相手の捕りやすいところに投げたり、遠くまで投げたりすることができる。【観察・学習カード】</p> <p>●背中などでボールをはさんでいろいろな方向に運ぶことができる。【観察・学習カード】</p> <p>○工夫を加えたよい動きをしている児童をグループや全体に紹介する。</p>
<p>6 整理運動をする。</p> <p><きゅうりの塩もみ></p> <p>7 学習の振り返りをする。</p>	<p>○心も体もクールダウンができるように落ち着いて行うよう声を掛ける。</p> <p>○学習中や学習カードを見て、よい動きやハッピーワード・ハッピーアクションについて紹介できるようにしておく。</p>